



Italian Living Innovation

ご使用の前に、必ずお読みください。

デロンギ トースター 型番 **CTM2023J** **家庭用**

取扱説明書

この度は、デロンギ トースターCTM2023Jをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にご使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。



MADE IN CHINA

CTM2023Jの特長

- ユニークなデザインと充実の3つの機能を搭載したポップアップトースター
 - 1: トースト
 - 2: 解凍 (冷凍パンを解凍しながら、トーストします)
 - 3: 温め直し
- 約12mm (10枚切) から30mm (4枚切) 厚に対応のスロットを装備
- 無段階の焼き目調整 (焼き目調整目盛表示付き)
- 着脱式くず受けでお手入れ簡単
- ゴム足で安定性を強化
- 2.1mのロングコード採用 (設置可能場所が広がります)
- ご不用時の回収・再資源化システム付き

目次

安全上の注意	1～3
各部の名称とはたらき	4
仕 様	4
初めてご使用になる前に	5
パンについてのご注意	5
ご使用方法	6～8
お手入れについて	9
故障かなと思ったら	10
アフターサービスについて	裏表紙

安全上の注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。



発火注意



感電注意



禁止行為



分解禁止



強制／指示



プラグをコンセントから抜く

電源について



警告

- ・ 電源は「15A 125V」と記載されている壁面のコンセントから直接とってください。

15A 125V

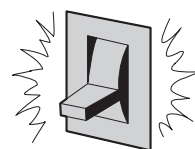


- ・ 電源は、家庭用交流100V／50／60Hzをご使用ください。



注意

- ・ 使用中にブレーカー（分電盤内の配線遮断器）が落ちる場合は、お近くの電力会社にご相談ください。

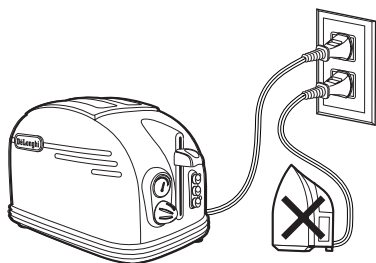


コンセントについて



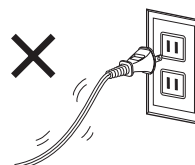
警告

- ・ コンセントは、必ず本製品だけ（単独）で使用し、差込口が2つある場合は、片方を空けたままでご使用ください。



警告

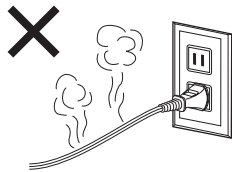
- ・ 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどの使用は絶対にお止めください。
- ・ 差込口のゆるいものや破損したコンセントは、絶対に使用しないでください。



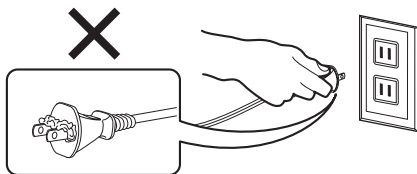
電源コード/プラグについて

⚠ 警告

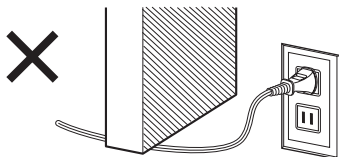
- ・使用中に、電源コード/プラグが異常に熱くなる場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



- ・プラグに付いたホコリなどは、定期的に取り除いてください。ホコリがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となります。

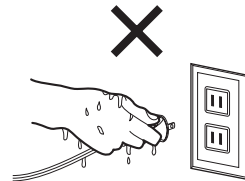


- ・電源コード/プラグは、無理に曲げたり、物をのせたり、傷つけないように大切に取扱ってください。



⚠ 警告

- ・使用中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。
- ・濡れた手で、プラグを抜き差ししないでください。感電するおそれがあります。

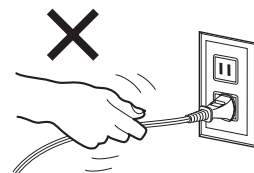


- ・傷付いたり、変形・破損している電源コード/プラグは絶対に使用しないでください。



⚠ 注意

- ・プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- ・プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。



使用場所について

⚠ 警告

- ・水のかかるところや火気の近くでは使用しないでください。



- ・焦げたパンは、燃える可能性がありますので、壁やカーテン、可燃物などの近くで使用しないでください。

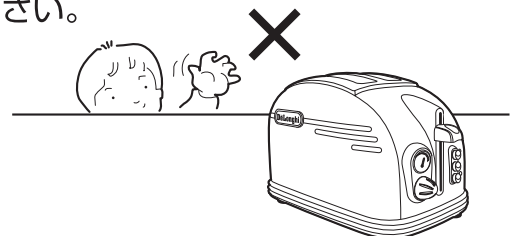


- ・耐熱性のある、しっかり固定された平らな場所に置いてください。



⚠ 警告












- ・雨や直射日光、霜などにさらさないでください。
- ・お子様だけで使わせたり、小さなお子様の手の届くところで使用しないでください。





安全上の注意 (続き)

使用上の注意点









警告

- ・使用中は本体から離れないでください。
- ・初めてご使用になる時以外は、空焼きはしないでください。
- ・濡れたり、湿ったりした手で本体やスロットに触れないでください。
- ・電源が入っている際、および使用直後は熱いので、決してスロットに手を入れないでください。
- ・裸足や濡れた足で使用しないでください。
- ・本製品は、家庭用のパン焼き機（トースター）です。屋外で使用したり、餅を焼くなど他の用途で使用しないでください。
- ・使用中および使用後しばらくは、本体上部やスロット周辺は熱くなりますので、触れたり、手を入れたりしないでください。
- ・金属製のもの（ナイフ・フォークなど）をスロットに入れないでください。ヒーターを傷つける恐れがあります。
- ・パン以外のものは、スロットに挿入しないでください。故障の原因になります。
- ・使用中は、本製品を移動しないでください。
- ・使用中にスロットをふさがないでください。

警告



- ・ご使用にならない時は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・使用中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。

注意



- ・必ずくず受けを取り付けて使用してください。
- ・使用後は、スイッチが切れていることを確かめ、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ・バターやジャムを塗ったパンを焼かないでください。
- ・ラップやホイルなどで包まれたパンを焼かないでください。
- ・指定寸法（5ページ参照）以外のパンや変形したパンを焼かないでください。
- ・本製品を移動する際は、必ずプラグをコンセントから抜き、本体/各部が冷えてから行ってください。
- ・スロットに手を入れて移動しないでください。
- ・使用の前にくず受けがきれいな状態であることを確認してください。

お手入れについて

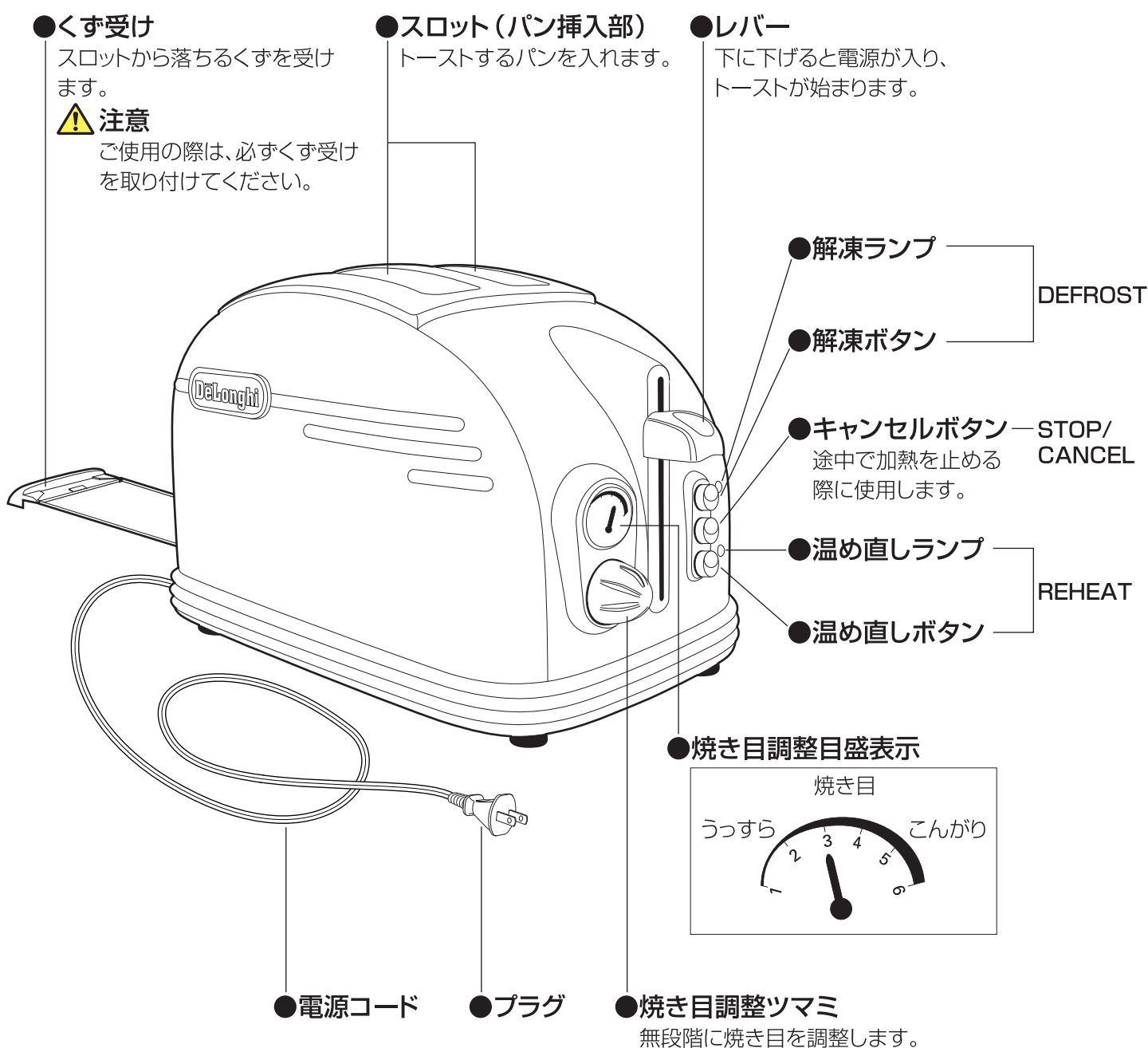
警告

- ・使用後は必ずお手入れをしてください（9ページ参照）。
- ・お手入れする際は、必ずプラグをコンセントから抜き、本体/各部が冷えてから行ってください。

警告

- ・ご自分で分解したり、修理／改造することは、絶対にお止めください。
- ・本体と電源コード／プラグは、水や液体をかけたり／浸けたりしないでください。

各部の名称とはたらき



仕 様

製品名称／型式番号		デロンギトースター／CTM2023J
定格	電圧／周波数	AC 100V／50/60Hz
	消費電力	850W
外形寸法／質量		幅190×奥行350×高さ210mm／1.9kg
電源コードの長さ		2.1m
材	質	本体外部・スロット:鉄 ツマミ・ボタン・レバー:ABS 底部:PP

初めてご使用になる前に

初めてご使用になる前に、必ず空焼きを行ってください。
空焼きは新製品特有の臭いを抜くため必要です。

(パンを入れずに作動させます。)

① プラグをコンセントに差し込む

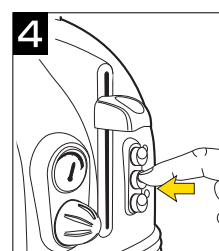
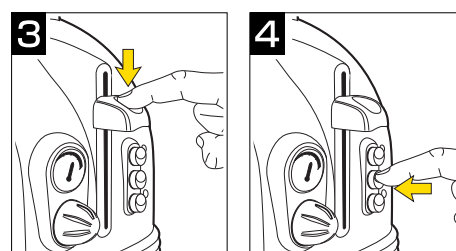
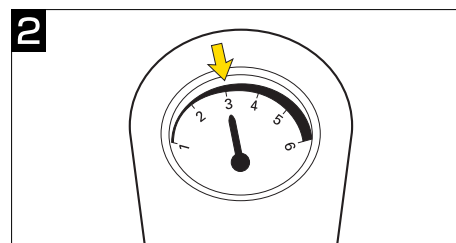
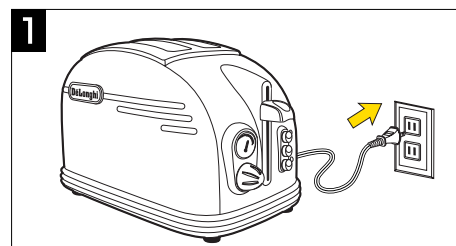
② 焼き目調整ツマミを3の目盛に合わせる

③ レバーを下げる

レバーを下げたら約3分で自動的に電源が切れ、レバーが上がります。これで空焼きは完了します。続けてご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。万一、10分以上たっても自動でレバーが上がらない場合、故障と考えられますので、キャンセルボタンを押し、電源を手動で切り、裏面の弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

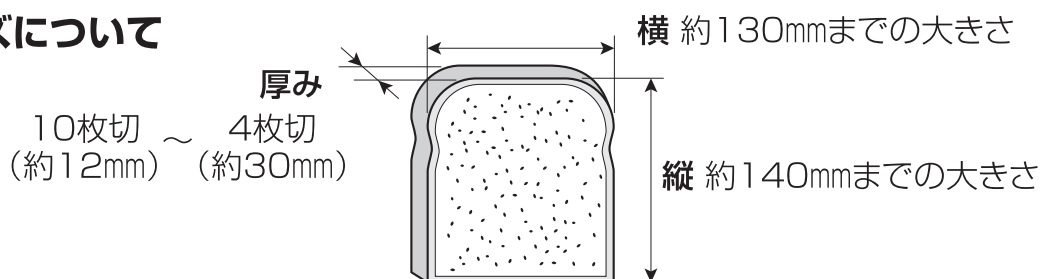
※本体内部のヒーターから臭いがしますが、これは新製品特有の臭いで異常ではありません。

※パンを入れずにレバーを下げると、スイッチは自動的に切れませんのでご注意ください。

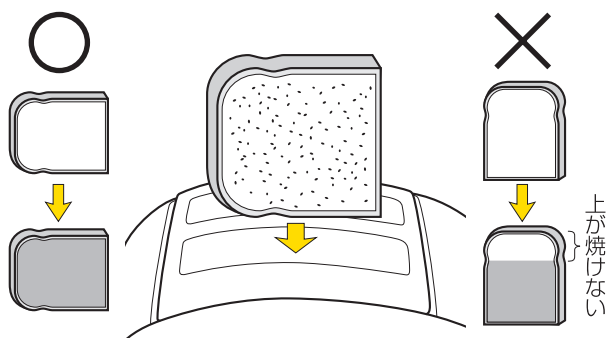


パンについてのご注意

食パンのサイズについて

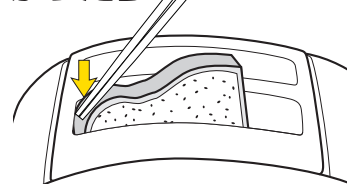


パンを入れる方向



パンの縦が横より長い場合は、パンを横向きにしてスロットに入れてください。内部のヒーターに接していない部分(パン上部)が焼けないで残ってしまうのを防ぎます。

パンが引っかかったら



木製のはしなどで引っかかった所を押して、外してください。

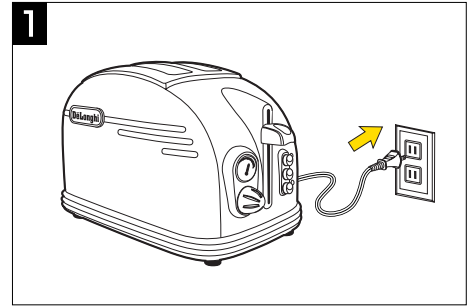
⚠ 警告
金属製のものは、絶対に使用しないでください。感電する恐れがあります。

⚠ 注意
・プラスチックなど熱に弱いものは変形する恐れがあります。
・トースター上部の温度は非常に高くなりますので、やけどにご注意ください。

ご使用方法 (トースト)

1 プラグをコンセントに差し込む

プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。
根元までしっかりと入れてください。

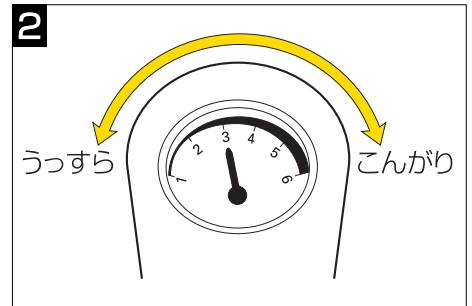


2 パンの焼き色を設定する

焼き目調整ツマミをお好みの焼き色に合わせます。

※最初は2～3の目盛に合わせて焼き、その後お好みに合わせて調整してください。

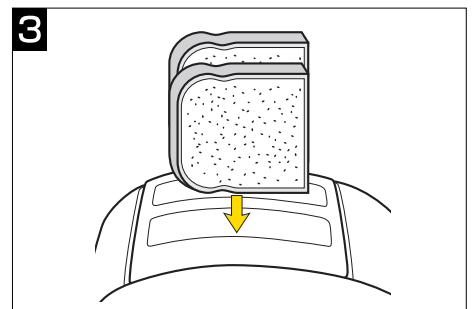
※パンの厚みが厚いほど焼き色が濃くなります。4枚切り (約30mm) の場合は、1～2の目盛に合わせることをおすすめします。



3 スロットにパンを入れる

スロットにパンを入れます。

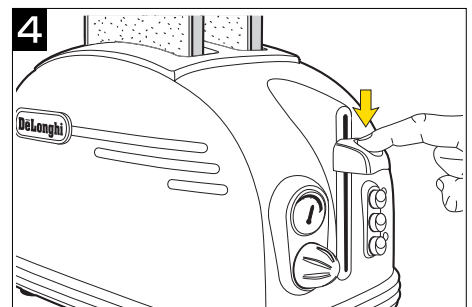
パンの縦が横より長い場合は、パンを横向きにして入れてください (5ページ参照)。



4 レバーを下げる

パンが下に下がり、加熱が始まります。

途中で加熱をやめる (手動で電源を切る) 場合
キャンセルボタンを押してください。
加熱が止まり、パンが上がってきます。



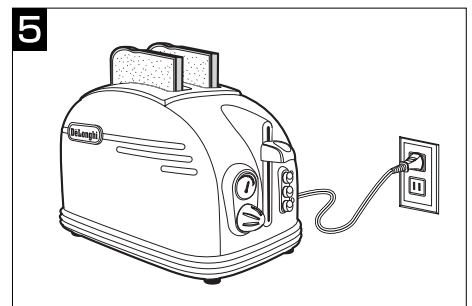
5 焼き上がり

パンが焼けると自動的に電源が切れ、パンが上がってきます。
スロットからパンを取り出してください。

⚠ 注意

※本体上部は熱くなりますので、パンを取り出す際は、
やけどにご注意ください。

ご使用後は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



冷凍パンについて

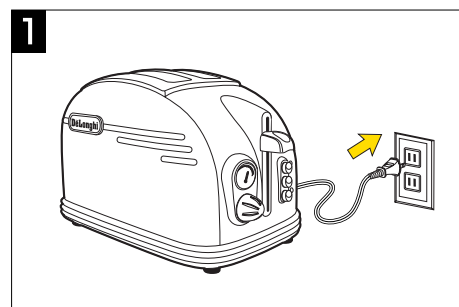
冷凍されたパンは、解凍機能を使用します (7ページ参照)。

ご使用方法 (冷凍パンを解凍しながらトースト)

〈特徴〉 冷凍パンをトーストする方法です。解凍 (DEFROST) 機能により、冷凍したままのパンをきれいにトーストすることができます。

1 プラグをコンセントに差し込む

プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。
根元までしっかりと入れてください。

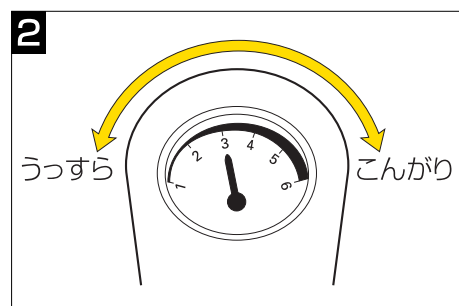


2 パンの焼き目を設定する

焼き目調整ツマミをお好みの焼き色に合わせます。

※最初は2～3の目盛に合わせて焼き、その後お好みに合わせて調整してください。

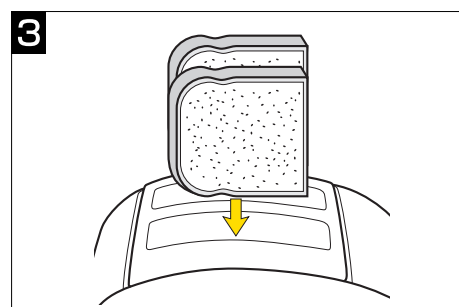
※パンの厚みが厚いほど焼き色が濃くなります。4枚切り (約30mm) の場合は、1～2の目盛に合わせることをおすすめします。



3 スロットに冷凍パンを入れる

スロットに冷凍パンを入れます。

パンの縦が横より長い場合は、パンを横向きにして入れてください (5ページ参照)。



4 レバーを下げ、解凍ボタンを押す

パンが下に下がり、解凍ランプ (DEFROST) が点灯して加熱が始まります。

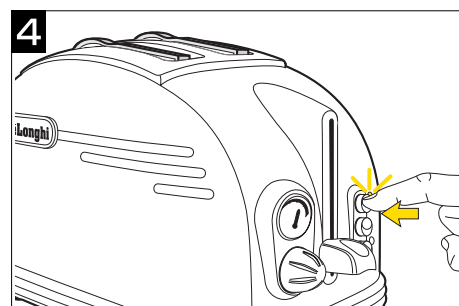
※冷凍パンをトーストする場合は、解凍時間がかかるため、焼き上がるまでに通常より時間がかかります。

※解凍ランプは、加熱中点灯しています。

途中で加熱をやめる (手動で電源を切る) 場合

キャンセルボタンを押してください。
加熱が止まり、パンが上がってきます。

※万一、解凍ボタンを押さずに冷凍パンをトーストした場合、焼きむらが発生してしまうことがあります。



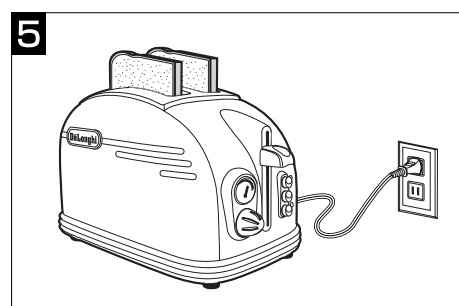
5 焼き上がり

パンが焼けると自動的に電源が切れ、パンが上がってきます。
スロットからパンを取り出してください。

⚠ 注意

※本体上部は熱くなりますので、パンを取り出す際は、やけどにご注意ください。

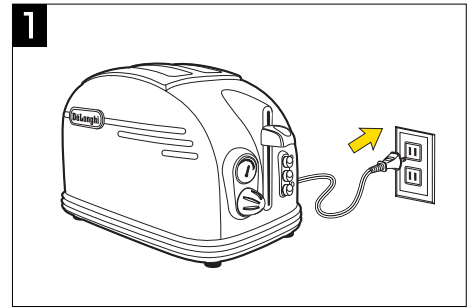
ご使用後は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



ご使用方法 (温め直し)

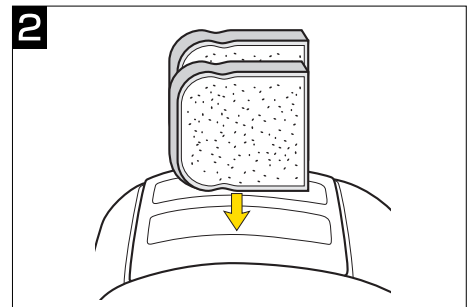
1 プラグをコンセントに差し込む

プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。
根元までしっかりと入れてください。



2 スロットにパンを入れる

スロットにパンを入れます。
パンの縦が横より長い場合は、パンを横向きにして入れてください (5ページ参照)。



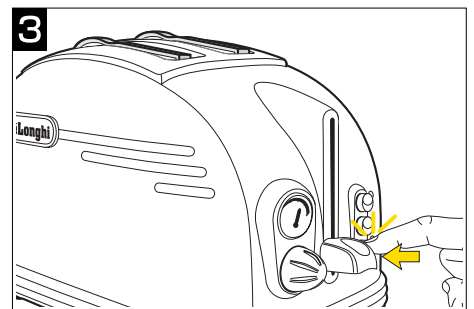
3 レバーを下げ、温め直しボタンを押す

パンが下に下がり、温め直しランプ (REHEAT) が点灯して、加熱が始まります。

※温め直し時間は、約30秒に固定されているので、焼き目調整ツマミで焼き目を調整することは出来ません。

※温め直しランプは、加熱中点灯しています。

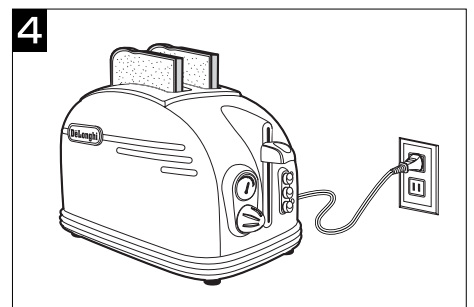
途中で加熱をやめる (手動で電源を切る) 場合
キャンセルボタンを押してください。
加熱が止まり、パンが上がってきます。



4 温め直しの終了

温め直しが終了すると自動的に電源が切れ、パンが上がってきます。

※温めが足りない時は、再びレバーを下げ、温め直しボタンを押して温めてください。



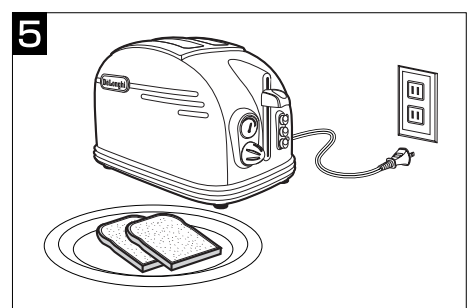
5 パンを取り出す

スロットからパンを取り出してください。

⚠ 注意

※本体上部は熱くなりますので、パンを取り出す際は、やけどにご注意ください。

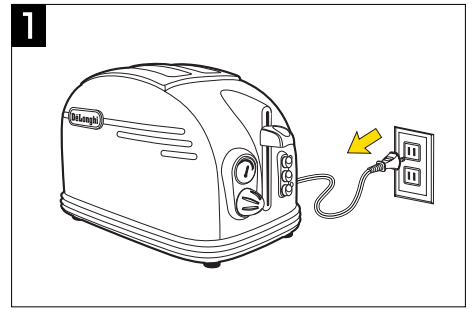
ご使用後は、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



お手入れについて

① プラグをコンセントから抜く

お手入れの前に必ず本体が冷えていることを確認し、プラグをコンセントから抜いてください。

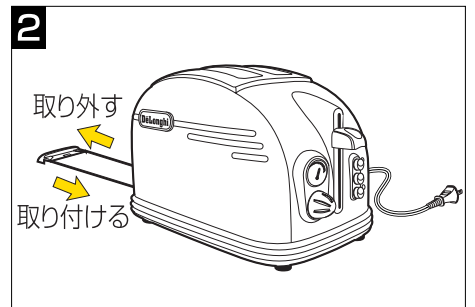


② くず受けのパンくずを取り除く

くず受けを本体から取り外し、パンくずを捨ててください。

⚠ 注意

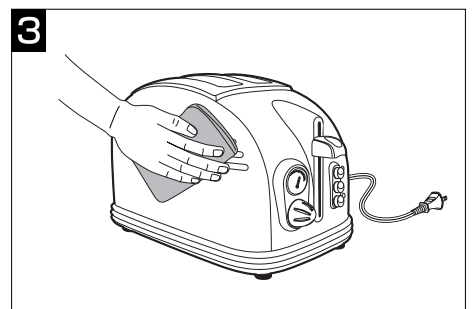
- ※パンくずは、トーストの度に毎回捨ててください。
パンくずから煙が出たり引火する恐れがあります。
- ※再びくず受けを本体に取り付ける際は、水平な状態でゆっくり行ってください。万一、完全な状態（元の状態）でない場合は、やり直してください。



③ 固く絞った濡れ布巾で拭く

本体の外側とくず受けは、固く絞った濡れ布巾で拭いた後、乾いた布で拭いてください。

※くず受けは水洗いも可能です。

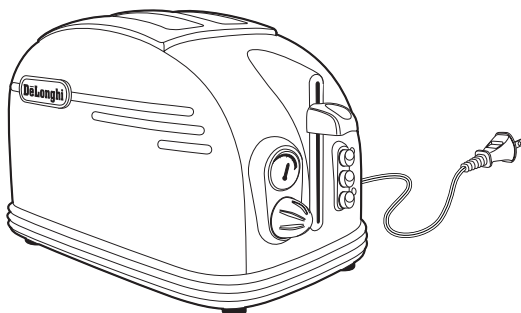


水洗いできません

本 体

固く絞った濡れ布巾で拭きます。汚れがひどい時は、少量の台所食器用洗剤を付けた布で拭き、次に固く絞った濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ります。

- ・ プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 水に浸けたり、水洗いしないでください。

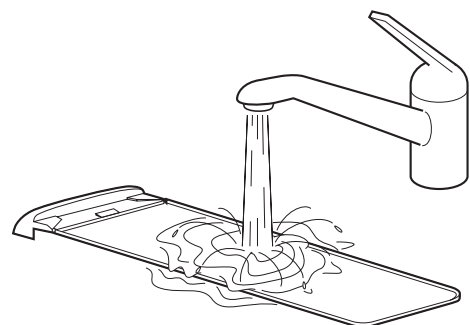


水洗いできます

くず受け

水洗いした後、完全に乾かしてください。

- ・ 食器洗い機も使用できます。



故障かなと思ったら

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、使用を中止して以下の点をお調べください。それでも正常に機能しないときは、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。

状 態	予想される原因	対処のしかた
パンが下がらない	・ 電源プラグがコンセントに差し込まれていない	・ 電源プラグを壁面のコンセントにしっかりと差し込む
パンが上がらない	・ パンが、指定より厚すぎる	・ 30mm以内のパンを使用してください（5ページ参照）
	・ パンが引っかかっている	・ 木製のはしなどで押して取り出す
パンがよく焼けない	・ 焼き目調整ツマミの目盛設定が低すぎる	・ 焼き目調整ツマミの目盛を高め設定する
	・ 湿ったパンを焼いた	・ 焼き目調整ツマミの目盛を高め設定する
	・ 解凍ボタンを押さずに冷凍パンを焼いた	・ レバーを下げた後、解凍ボタンを押す（7ページ参照）
パンが焦げる	・ 焼き目調整ツマミの目盛設定が高すぎる	・ 焼き目調整ツマミの目盛を低め設定する
	・ パンを焼いたあと、すぐに次のパンを焼いた	・ 30秒以上経ってからパンを焼くまたは、次のパンは、焼き目調整ツマミの目盛を低めに設定する
冷凍パンに焼きむらができる	・ 解凍ボタンを押さずに冷凍パンを焼いた	・ レバーを下げた後、解凍ボタンを押す（7ページ参照）
パンを温め直しても温かにならない	・ 温め直しが不十分である	・ 再度温め直しをする（レバーを下げた後、温め直しボタンを押す）

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

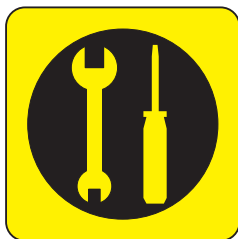
（欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリプロモビフェニル（PBB）、ポリプロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービスについて

- 1)使用中に製品機能上問題が発生したときは、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。
その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記)にご相談ください。
- 2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。
- 3)保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 4)真心点検のお勧め： 長い期間で使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日: 年 月 日

5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください

デロンギ・ジャパン サービスセンター ▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

●コールセンター

- ・修理について………Tel. 0120-804-280
Tel. 0120-692-885
- ・お問い合わせ………Tel. 0120-064-300 / Fax. 045-450-3291
Tel. 0120-692-880

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp>

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載! デロンギフォーラム無料会員募集中!

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321(代)



再生紙を使用しています。